

ビザなし交流通信

信頼関係 問題解決の下支えに

【連載】北方四島交流インタビュー

【発行】
北方四島交流北海道推進委員会
☎ (011)221-3340
✉ 004@vizanashi.net

プレゼントは花の数にご用心！

スプーンが楽器に！？ ロシアの打楽器「ローシキ」



信頼関係 問題解決の下支えに

北方四島交流インタビュー③

元島民
福澤英雄さん(85) 〓 標津町 〓

友好の記憶を残す

ロシアによるウクライナ侵略の影響などで、2020年から中断している北方四島交流事業。事業を支えてきた人たちに話を聞きました。

一軒家の庭先にたたずむ小さなプレハブ小屋、通称「日ロ友好館」。5畳ほどの広さに、日本人が四島のロシア人と肩を組む写真や、ロシア人から友情の証として渡されたバラライカなど、ビザなし交流の記念品100点以上が所狭しと並ぶ。そこは、立場の違いを理解しながら信頼関係を築いてきた日本人とロシア人の歴史が漂う空間だ。

プレハブの主は歯舞群島多楽島出身の福澤英雄さん(85)。これまでビザなし交流などで四島を16回訪問し、自宅でもロシア人を受け入れてきた。交流の記憶を伝えたいと、自宅庭に友好館を開設したのは2020年。だが、ロシアのウクライナ侵略などの影響で同年から5年間交流が中断している現状に「空白期間をこれ以上長引かせてはいけない」と危機感を募らせる。

▲バラライカを手に、民族衣装姿でロシア歌謡「カチューシャ」を歌う福澤さん。「弾けないけれど、触るだけで当時を思い出すね」と話す

米か、命か

多楽島蒲原磯^{かんばらいそ}で5歳まで暮らした福澤さん。コンブ漁を営む父のもとで不自由のない暮らしを送っていた。「友達とかくれんぼできるくらい大きなコンブ小屋があったんだ」と当時を懐かしむ。だが、1945年9月

にソ連兵が上陸すると暮らしは一変。家を奪われ、一家9人はコンブ漁船で島を抜け出した。今も脳裏に残るのは、脱出の途中、しげで船が浸水しかけた際の緊迫した父の声だ。「米がほしいか、命がほしいか!」。そう叫ぶと、父は母の制止を振り払い、船上から米や家

財道具を海に投げ捨てたという。福澤さんは「まさに命からがらだった」と振り返る。標津町に移り住んでからの生活は困窮した。家計を助けるため、新聞配達や農家で野菜収穫の手伝いをしながら学校に通い、同級生から「貧乏の子」といじめられた。島にいればこんな目に遭わ

ずに花を手向けるロシア人少女を見て「自分を古里から追いやった兵士とこの子は違う」と感じた。そして少しづつ「四島で現在暮らすロシア人と心を通わせることが、領土問題解決の下支えになる」と思うようになった。

「四島の友人たちと笑って歌える日が早くきてほしいな」。福澤さんは友好館に新たな記憶を刻める日を心待ちにしている。(川口実南)



▲ 国後島でロシア人と歌を熱唱する福澤さん (左 2011年)



▲ 交流の写真を収めたアルバムを広げ、当時を懐かしむ福澤さん

心通いあう関係性が重要

なかったのに。悔しさがこみ上げると同時に「ソ連人、ロシア人を恨むようになった」と話す。

交流へかける思いは人一倍強い。福澤さんが注力してきたのが歌を通じた交流だ。ロシア人と何度も歌って覚えたロシア歌謡「カチューシャ」。「プラ・タヴォ・チイ・ピースマ・ベルグラ(大切な手紙を

くれぬ人)」。今でも口ずさむほど思い出深い曲で「一緒に歌うと自然と打ち解けるんだ」と語る。ある時、親しくなったロシア人にこう言われた。「これからもずっと仲良くしていきましようね」。そこには確かな信頼があったと思うからこそ、ビザなし交流は必ず再開すると信じている。

憎しみから理解へ

転機となったのは、1989年から参加し始めた北方墓参だ。日本人墓

北方四島交流(ビザなし交流)とは?

日本人と北方四島のロシア人がパスポートやビザなしで相互訪問する事業。領土問題解決の環境づくりのため1992年に始まり、これまでに646回、2万4488人の交流が行われています。

四島交流 HISTORY

1945

福澤さん一家が多楽島を脱出

四島交流の枠組みができる

1991

四島交流開始

1992

四島訪問に学術や文化などの専門家が同行するように

1998

ロシア人の日本語習得事業を開始

2001

対話集会に代わり意見交換会を開始

2010

2020

新型コロナウイルスの流行で事業中止(以降実施できず)

ロシアによるウクライナ侵略開始

2022

word
住民交流会

What's?

住民交流会とは、日本人と四島のロシア人の相互理解を深めることを目的に、スポーツ交流のほか、絵手紙体験や音楽会などの文化交流を行うプログラムです。

互いの身近な話題を語りあう意見交換の場もあります。当初は日本人側とロシア人側に分かれて座り、会議のように対面で話しあっていましたが、2010年ごろからは両者が混ざった少人数のグループごとに座り、写真のようにざっくばらんに話しあうようになりました。

四島NEWS

四島で話題のニュースとぶち情報をお届け

色丹島の教会 焼失

ユジノサハリンスク・クリル教区によると、北方領土・色丹島内唯一の正教会である聖ダニール・モスコフスキー公教会で7月4日、火災が発生した。火災の原因は不明。同教区のニコノール大司教は「教会の損壊が激しく修復は困難」とした上で「新教会ができるまでの間、教区が入るための仮施設を用意してほしい」と地区の行政府に求めた。木造建ての同教会は潮風や暴風雨の影響で以前から老朽化が進んでいた。
(2025年7月4日ユジノサハリンスク・クリル教区ホームページ)

知っ
とこ!

四島ぶち情報

色丹島で新教会 建設中

色丹島で新しい正教会の建設作業が進んでいます。マロクリスコエ（斜古丹）村では2022年から聖チホン総主教教会の建設が開始。2025年の完成を目指し、既に屋根以外の外壁の設置作業が完了しています。悪天候に強い石造りの教会に期待が寄せられる一方で、「工事が遅延しがちな島の事情を考えれば、教会の敷居をまたぐ日までまた待つのだろう」と嘆く声もあります。同島のクラブザヴォーツコエ（穴澗）村でも、2024年に使徒ヨハネ教会の工事が始まっています。

引用：2025年1月3日テレグラム「シコタンスキー・テレグラフ」
2025年7月5日同テレグラム



▲2003年に建設された聖ダニール・モスコフスキー公教会。四島交流でも日本人団員がよく視察に訪れました。写真は2007年の様子です。

\\再開に向け、今こそ知っておきたい//

四島交流まめ知識

プレゼントは花の数にご用心！

こんな経験
ありませんか？

「1、2、3、4…20本」。プレゼントの花の数を見て苦い顔をしたロシア人。せっかく相手が好きなチューリップを贈ったのに…。

ロシア人に花を贈る時は、奇数本にするのがマナー。偶数本は「死」を連想し、縁起が悪いとされています。色にも注意が必要。別れの象徴である黄色の花を恋人に贈るのはご法度です。

とにかく花が好きロシア人。3月8日の国際女性デーには、身近な女性に男性が花を贈るのが習慣です。仕事が忙しくても大丈夫。ロシアには24時間営業の花屋もあります。





▲ バヤン (中央) とローシキ (右) を演奏する四島のロシア人 (2008年 択捉島)

ダヴァイチェ・スパヨム
「Давайте споём (歌いましょう)！」。この一言で、大人も子どもも楽器を手に取り大合唱。バラライカやボタン式アコーディオンのバヤンなど、ロシアには民族楽器がたくさんあります。身近なものをなんでも楽器にするロシア人の手にかかれば、スプーンだって立派な打楽器ローシキに変わります。写真は2008年に択捉島で行われた夕食交流会の様子。日本人に演奏を披露したロシア人は、バヤンのメロディーとともに、ローシキの軽快なリズムで場を盛り上げました。



◀ロシアの伝統漆器ホフロマ塗りのスプーン

Объявление

四島交流掲示板

フォトモザイク初公開！ **参加無料・予約不要**

四島交流セミナーin標津町「あすばる」開催！

美味しいロシア紅茶を飲みながら、四島交流の話を聞いてみませんか。セミナーにあわせて写真展も開催。交流の写真1万枚を集めて1枚の写真にしたフォトモザイクパネルを初公開します。



＼詳細はコチラ／



写真1万枚の
フォトモザイク
初公開

日時

2025年 8月 10 日 (日) 15:00~16:00

場所

標津町生涯学習センター「あすばる」研修室A
※第1部・ロシア風クレープ「プリヌイ」づくりの応募は締め切りました

陸揚庫「海底ケーブル」函館初公開！

船舶「えとぴりか」一般公開 in 函館港

北方四島交流で使用する船舶「えとぴりか」が函館港にやってくる！客室や操舵室をめぐりながら四島交流を身近に感じてみませんか？かつて北方領土と根室市を海底で結んでいたケーブルを函館で初公開します。

日時

2025年 9月 27 日 (土) 10:00~17:00
※16:30 受付終了
9月 28 日 (日) 10:00~15:00
※14:30 受付終了

場所

函館港 (西ふ頭) ・北方領土元島民後継者によるミニ語り部
・海底ケーブルの展示 ・クイズラリー 等

船内イベント

入場無料

函館港にやってくる！

「海底ケーブル」函館初公開

かつて北方領土と根室市を海底で結んでいた電線ケーブルを船内で展示。

北方四島交流等事業使用船舶

えとぴりか

一般公開

第40回「北方領土を考える」高校生弁論大会

参加者を募集します！

開催日時・場所

2026年 1月 17 日 (土) 12:30~
札幌市男女共同参画センター

応募内容

- ・テーマ：「北方領土について考える」
- ・演題：自由

応募資格

北海道内の高校生

応募先・お問合わせ

応募締切

2025年 11月 6 日 (木)

※当日消印有効

（公社）北方領土復帰期成同盟 弁論担当宛
〒060-0001 札幌市中央区北1条西3丁目3番地
敷島プラザビル3階
TEL 011-205-6500
E-mail hoppou-dl@feel.ocn.ne.jp

＼詳細はコチラ／

第四〇回「北方領土を考える」

高校生弁論大会

戦後八〇年、言葉で漕ぎだす

四島への航路

北海道

青森県

岩手県

秋田県

山形県

宮城県

福島県

茨城県

栃木県

群馬県

埼玉県

千葉県

東京都

神奈川県

新潟県

富山県

石川県

福井県

山梨県

長野県

岐阜県

静岡県

愛知県

三重県

滋賀県

京都府

大阪府

兵庫県

奈良県

和歌山県

徳島県

香川県

愛媛県

高知県

福岡県

佐賀県

長門県

熊本県

大分県

鹿児島県

沖縄県